



文部科学省  
平成26年度大学教育再生加速プログラム採択事業



自分史上、  
想像以上!

平成26年度 大学教育再生加速プログラム テーマⅢ(入試改革)

# Assertiveness

2015年度 アサーティブプログラム・アサーティブ入試  
補助事業報告書



想像もしなかった自分史がはじまる

おうてもん

追手門学院大学

2015年度  
アサーティブプログラム・アサーティブ入試 補助事業報告書

<b>1</b>	副学長あいさつ	01
<b>2</b>	アサーティブプログラム・アサーティブ入試の概要	02
<b>3</b>	統計資料編	
	(1)アサーティブ入試日程・募集人員	04
	(2)アサーティブガイダンス日程・アサーティブプログラム受講者数	05
	(3)MANABOSS(マナボス)利用者数	06
	(4)MANABOSS(マナボス)問題数	07
	(5)アサーティブプログラム・アサーティブ入試について	08
	(6)アサーティブ入試について	09
	(7)アサーティブプログラム受講者 入試種別 志願・合格・入学者数	10
	(8)入学前学習	11
	(9)個別面談職員・研修日程	12
	(10)研修内容・事例紹介	13
	(11)入学者インタビュー調査	14
	(12)アサーティブ学生スタッフ紹介	15
<b>4</b>	資料編	
	(1)報道関係	16
	(2)平成28年度大学教育再生加速プログラム事業計画	19

# アサーティブプログラム・ アサーティブ入試の新展開



追手門学院大学 副学長  
福島 一政

アサーティブプログラム・アサーティブ入試を始めて2年目が終わりました。

3年目を迎えて、取り組みの内容も事業を進める体制も新たな展開が始まりました。当初想定していた通り、あるいはそれ以上の進展を見せています。

体制上は、本年4月から入試部にアサーティブ課が新設されました。それまでの入試課アサーティブ係から課に昇格になり、初代課長には、アサーティブの取り組みの生みの親でもある志村知美アサーティブオフィサーが就任しました。

昨年6月に発足したアサーティブ研究センターと併せて、本格的に理論と実践の両面をかみ合わせる条件ができたと考えています。

新設のアサーティブ課では、アサーティブプログラムの開発・実践はもとより、新たな高大接続システムの開発・実践、本学院併設校とのAP(Advanced Placement)科目生の受け入れ・育成も担当することになりました。

アサーティブプログラムのMANABOSSシステムでは、MANABOTANという英単語帳の冊子を作成しました。3500語の英単語と主な意味が記載されていると同時に、QRコードを使えば、ネイティブスピーカーによる発音を聞くことができるようにしました。また、近日中に英検協会提供による1級から5級までの英語問題もMANABOSSに搭載することになっています。

新たな高大接続では、本年3月に滋賀県教育委員会と連携協力協定を締結しました。狙いは、「将来、社会の中核的働き手として活躍するであろう、学力的にボリュームゾーンを構成する生徒一人ひとりが基礎学力の向上を図るとともに、その進路を、彼ら自身が自らの多様な資質に気が付いて決めることができるよう高校と大学が協働でサポートする。直接的に大学入試という形ではなく、新しい高大接続の在り方として実践する。」というものです。現在、滋賀県教育委員会が指定した5校と、具体的な進め方について協議を進めており、時間をかけながら秋以降に様々な取り組みが展開されていくことになります。

また、複数の他大学と、アサーティブの取り組みの共同化を協議し始めています。具体化までは時間がかかると思いますが、取り組みやすいところから始めていきます。

アサーティブ研究センターでは、本年4月から、ベネッセ教育総合研究所との共同研究を開始しました。学びと成長に関する調査研究に取り組んできた同研究所の知見と、ベネッセグループが保有する学習アセスメントを活用し、アサーティブプログラムおよびアサーティブ入試の成果検証を行います。そして、入学前後の学生の学びと成長の様子を追跡し、成長要因を明らかにする総合的なアセスメント手法を開発し、新しい教育理論と実践を生み出すことを目的としています。

本年3月末に高大接続システム改革会議の最終まとめが発表されました。高校教育、大学教育、入学者選抜の一体的な改革が提起されています。これに対して様々な意見が出されていますが、ユニバーサル化段階にある大学教育と入学者選抜の在り方は、抜本的な改革が求められていることは確実です。本学は今年度から、教育改革本部を立ち上げ、この大きな課題に真正面から取り組むことにしています。

今後とも引き続き本取り組みへのご支援とご協力をお願いいたします。

# アサーティブプログラム・アサーティブ入試の概要

高校生に大学で学ぶ目的を考えさせ、大学で学ぶ姿勢と意欲を持つことができるように育てるアサーティブプログラムと、そのことを検証するアサーティブ入試を開発した。その特徴は、①本学職員と高校生が個別面談をし、将来の自分を意識させ、大学で何を学ぶかを問い、大学で学ぶ意味を自ら気づくように促す。②本学が独自に開発したMANABOSS（マナボス）システムで基礎学力の確認と向上、計画的学習を習慣づける。同時にこのシステム上で議論するバカロレアバトルで、物事を多様な観点から考察する能力を育成し、自分の意見を述べる力や他者の意見を受け入れる姿勢を養うことができるようにする。③このプログラムと個別面談結果をアサーティブノートとコンタクトシートに記録し、繰り返し振り返ることで自己成長を促す。その成果を発揮し、意欲・能力・適性に加え、基礎学力の達成度を含めた多面的・統合的な評価が可能となる。

## アサーティブ入試の求める受験生像

1. 追手門学院大学で学びたいという気持ちを描き、その思いを伝えられる人
2. 今は確かな希望や理念がなくとも、知的な事柄への興味や活動を通じ、何のために学ぶのかを問い続け、努力する人
3. 高校までの基礎的な知識や技能の習得を見直し、向上しようと努力する人

## コンセプト

### 「選抜型」入試から「育成型」入試への転換

大学で学ぶ目的を考え、学ぶ意欲と姿勢を持った受験生に入学を許可することを目的とし、受験前から「学ぶことについて考える」及び「アイデンティティの形成」の機会となるアサーティブプログラムとその成果を発揮できるアサーティブ入試。

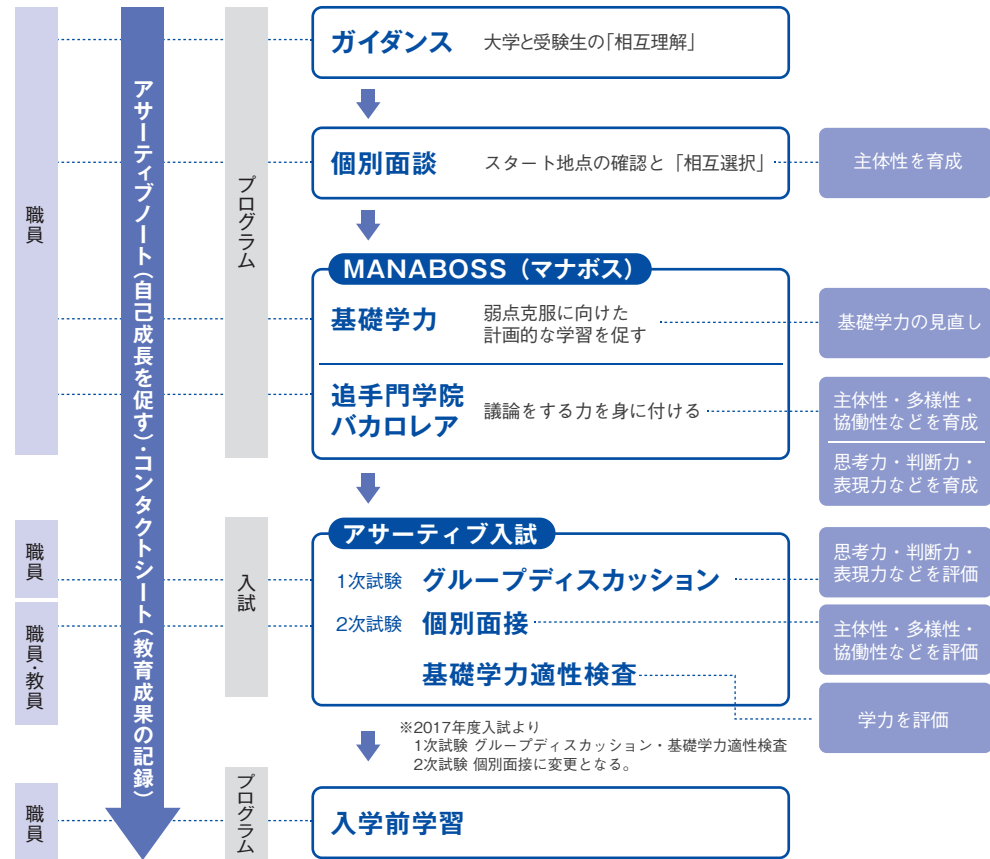
## 入学前学習

高校生活の充実と、大学で学ぶことを考え続けるプログラム（P11を参照）

## 事業による効果（期待する入学者像）

- シラバスの活用ができる
- 講義への参加意欲の向上
- 各種活動への積極的参加  
などができる新入生の増加

## アサーティブプログラム・アサーティブ入試の流れ



※Between 2015.6-7月号(進研アド発行)より

## アサーティブプログラムの特徴

### 1 本学職員との「個別面談」

将来の自分を意識させ、大学で何を学ぶかを問い、大学で学ぶ意味を自ら気付くように促し、学ぶ意欲を引き出すことができるようにする。

### 2 独自開発システム「MANABOSS(マナボス)」

#### 【MANABOSS導入の目的】

- ① 基礎学力の確認と弱点の発見から計画的学習への動機づけができる。
- ② 論理的思考や批判的思考を始めとして、物事を多様な観点から考察する能力を育成する。
- ③ ポートフォリオで成長の記録を振り返ることができ、入学後の学生ポートフォリオにつなげることができる。



#### 基礎学力適性検査

高等学校段階の学力を客観的に把握・活用できるように「言語能力問題」と「非言語能力問題」を準備。「達成度」から自らの基礎学力の状態を把握し、計画的に学ぶ姿勢を養うことができる。

#### 追手門学院バカロレア

大学において、「答えのない問題」を発見し、解決するために必要な専門的知識と汎用的能力を鍛えるための準備として、与えられた課題にたいしてじっくり考えることを養い、SNS上で議論を展開することができる。

### 3 自己成長を促す「アサーティブノート」

自らのことを理解し、大きな視野で周りの状況を見極め、自分で考えたことを、相手にしっかりと伝える準備ができるノートである。このことにより、アイデンティティの形成と自己成長を促すことになる。

# アサーティブ入試日程・募集人員

アサーティブプログラム、アサーティブ入試の趣旨に、入試前から育成という視点がある。プログラム設計当初からアサーティブ入試で一度不合格となった受験生が、自分の弱点を克服して再度チャレンジできる仕組みを計画してきた。2015年度入試では初年度ということもあり全1日程での実施であったが、2016年度入試については、全2日程、2017年度以降の入試では最終的に全3日程を計画している。

入学募集人員については、初年度の2015年度入試では60名とした。2016年度入試では111名、2017年度入試では216名としており、最終的には全体入学人員の3分の1となる500名程度を目標とする。

## 〔2015年度入試〕

□ アサーティブ入試入学人員:60名

□ アサーティブ入試日程

出願期間:2014.8.20(水)~8.28(木)

試験日:(1次試験)2014.9.7(日)グループディスカッション

(2次試験)2014.10.19(日)基礎学力適性検査、個別面接

合格発表:(1次試験)2014.9.11(木)

(2次試験)2014.10.24(金)

入学手続:2014.11.12(水)〆切

## ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	10
経営	経営	5
	マーケティング	5
地域創造	地域創造	10
社会	社会	10
心理	心理	10
国際教養	アジア	5
	英語コミュニケーション	5
合計		60

## 〔2016年度入試〕

□ アサーティブ入学人員:111名

□ アサーティブ入試A日程

出願期間:2015.8.20(木)~8.28(金)

試験日:(1次試験)2015.9.5(土)グループディスカッション

(2次試験)2015.9.19(土)基礎学力適性検査、個別面接

合格発表:(1次試験)2015.9.10(木)

(2次試験)2015.9.25(金)

入学手続:2015.10.23(金)〆切

□ アサーティブ入試B日程

出願期間:2015.10.28(水)~11.6(金)

試験日:(1次試験)2015.11.14(土)グループディスカッション

(2次試験)2015.11.28(土)基礎学力適性検査、個別面接

合格発表:(1次試験)2015.11.20(金)

(2次試験)2015.12.4(金)

入学手続:2015.12.21(月)〆切

## ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	15
経営	経営	15
	マーケティング	15
地域創造	地域創造	11
社会	社会	22
心理	心理	15
国際教養	アジア	8
	英語コミュニケーション	10
合計		111

## 〔2017年度入試〕

□ アサーティブ入学人員:216名

□ アサーティブ入試A日程

出願期間:2016.8.19(金)~8.29(月)

試験日:(1次試験)2016.9.10(土)グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2016.9.24(土)個別面接

合格発表:(1次試験)2016.9.13(火)

(2次試験)2016.9.30(金)

入学手続:2016.10.28(金)〆切

□ アサーティブ入試B日程

出願期間:2016.10.26(水)~11.2(水)

試験日:(1次試験)2016.11.13(日)グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2016.11.26(土)個別面接

合格発表:(1次試験)2016.11.18(金)

(2次試験)2016.12.2(金)

入学手続:2016.12.22(木)〆切

## ◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学部	学科	募集人員
経済	経済	48
経営	経営	29
	マーケティング	29
地域創造	地域創造	20
社会	社会	30
心理	心理	29
国際教養	アジア	14
	国際教養	17
合計		216

※国際教養学部アジア学科は、2017年4月より国際教養学部国際日本学科に名称変更予定。  
※国際教養学部国際教養学科は、2016年4月より国際教養学部英語コミュニケーション学科から名称変更。

# アサーティブガイダンス日程・アサーティブプログラム受講者数

## ◆2014年度(2015年度入試対象)

(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	実人数 個別面談
5月25日	オープンキャンパス	46	22	10	12	0	22
6月 8日	梅田サテライト	3	3	2	1	0	3
6月17日	梅田サテライト	2	2	1	1	0	2
6月22日	オープンキャンパス	64	41	17	24	3	38
6月29日	個別対応(広島)	3	3	3	0	1	2
7月13日	オープンキャンパス	48	34	14	20	6	28
7月20日	梅田サテライト	5	5	3	2	0	5
7月27日	梅田サテライト	6	6	2	4	0	6
8月 2日	オープンキャンパス	37	30	19	11	6	24
8月 3日	オープンキャンパス	30	27	16	11	7	20
8月 9日	梅田サテライト	7	7	7	0	0	7
8月21日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
8月24日	オープンキャンパス	25	23	12	11	6	17
8月25日	個別対応(本学)	2	2	2	0	0	2
9月14日	オープンキャンパス	15	9	8	1	2	7
9月15日	梅田サテライト	1	1	1	0	0	1
9月20日	梅田サテライト	1	1	1	0	0	1
9月21日	梅田サテライト	4	4	3	1	0	4
合計		300	221	122	99	31	190

## ◆2015年度(2016年度入試対象)

(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	実人数 個別面談
2月22日	梅田サテライト	6	6	4	2	1*	6*
3月15日	梅田サテライト	9	9	5	4	0	9
3月28日	梅田サテライト	11	9	5	4	0	9
3月29日	梅田サテライト	7	4	1	3	1*	4*
3月31日	個別対応(本学)	1	1	0	1	0	1
4月26日	梅田サテライト	5	5	2	3	0	5
5月10日	梅田サテライト	3	3	2	1	1	2
5月24日	梅田サテライト	12	12	9	3	2	10
6月 7日	梅田サテライト	11	11	5	6	0	11
6月 9日	個別対応(高知)	1	1	0	1	0	1
6月21日	オープンキャンパス	124	102	54	48	11	91
7月 5日	梅田サテライト	9	9	8	1	2	7
7月19日	梅田サテライト	17	16	10	6	4	12
7月20日	個別対応(福岡)	1	1	0	1	0	1
7月21日	個別対応(大分・本学)	2	2	1	1	0	2
7月26日	オープンキャンパス	131	116	79	37	24	92
8月 2日	梅田サテライト	16	16	14	2	3	13
8月 4日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
8月 7日	オープンキャンパス	104	87	67	20	14	73
8月 8日	オープンキャンパス	85	77	55	22	20	57
8月23日	オープンキャンパス	103	86	63	23	26	60
8月24日	個別対応(本学)	1	1	0	1	0	1
8月26日	個別対応(本学)	1	1	0	1	0	1
9月 9日	個別対応(岡山)	1	1	1	0	0	1
9月13日	オープンキャンパス	50	52	39	13	14	38
9月27日	梅田サテライト	21	21	16	5	10	11
10月11日	梅田サテライト	12	12	9	3	2	10
10月25日	入試直前相談会	28	44	32	12	20	24
11月 2日	個別対応(本学)	2	2	2	0	0	2
11月 3日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
11月 4日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
合計		777	710	486	224	155	557

## ◆年度別参加者数とリピーター状況

(単位:名)

	ガイダンス 開催日程 (個別対応含む)	延人数			リピーター	リピーター率
		ガイダンス	個別面談	リピーター		
2014年度	18回	300	221	31		
2015年度	31回	777	710	155		
	実人数(個別面談)					
	1年	2年	3年	合計	リピーター	リピーター率
2014年度	1	4	185	190	25	13.2%
2015年度	2	17	538	557	113	20.3%

\*リピーター155名中2名は、昨年度の受講者のため、実人数でもカウントしている。

# MANABOSS (マナボス) 利用者数

## ◆MANABOSS登録者

(単位:名)

	1年	2年	3年	高校教員	合計
登録者全体	2	14	368	14	398
ガイダンス参加者	1	10	347	—	358
アサーティブ入試出願者	—	—	252	—	252

## ◆アサーティブ入試におけるMANABOSS利用者数

(単位:名)

アサーティブ入試A日程	合計	登録者数	利用者数	未利用者数
志願者全体数	203	197	191	6
1次試験 受験	200	194	188	6
合格	188	184	179	5
不合格	12	10	9	1
2次試験 受験	180	178	173	5
合格	89	89	87	2
不合格	91	89	86	3

アサーティブ入試B日程	合計	登録者数	利用者数	未利用者数
志願者全体数	87	84	79	5
1次試験 受験	87	84	79	5
合格	72	70	67	3
不合格	15	14	12	2
2次試験 受験	66	65	62	3
合格	41	41	38	3
不合格	25	24	24	0

アサーティブ入試A日程	人数	利用日数(日)			解答数		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低
2次試験合格	87	15	71	1	934	5387	10
1・2次試験不合格者	95	13	59	1	648	4339	4

(2015年4月1日~2015年9月19日)

アサーティブ入試B日程	人数	利用日数(日)			解答数		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低
2次試験合格	38	24	80	1	1126	3378	1
1・2次試験不合格者	36	16	67	1	1115	5034	22

(2015年4月1日~2015年11月28日)



# MANABOSS(マナボス)問題数

## ◆言語能力問題

問題分野	2014年	2015年	合計
二語関係	66	31	97
同意語／同義語	45	23	68
反意語／反語	55	22	77
慣用句	63	16	79
ことわざ	3	16	19
語句の用法	45	22	67
熟語	49	21	70
言葉の意味	37	17	54
言葉の用法	50	28	78
敬語	40	21	61
文章整序	18	11	29
長文読解	34	15	49
漢字	0	77	77
合計	505	320	825

## ◆非言語能力問題

問題分野	2014年	2015年	合計
推論	8	15	23
集合	9	32	41
表の読み取り	5	32	37
順列・組み合わせ	11	41	52
確率	8	42	50
代金の精算	3	40	43
料金の割引	5	40	45
分割払い	2	32	34
損益算	8	41	49
仕事算	13	33	46
速さ・時間・距離	13	51	64
グラフの領域	5	30	35
物の流れと比率	6	15	21
装置と回路	4	15	19
基礎数学	0	11	11
合計	100	470	570

## ◆追手門学院バカロレア問題 ※全22問より抜粋

- 〔設問01〕 あなたは今、この瞬間存在しますか。もし存在するとしたら、どのようにしてそれを証明しますか？
- 〔設問03〕 「古池や、かわず飛び込むみずの音」という有名な俳句があります。この句を絶賛して下さい。そして次にこの句を酷評して下さい。
- 〔設問04〕 「一億円をあげるか、10分の1の確率で十億円あたるくじをあげますよ!」と言われたらあなたはどちらを選択しますか？ その理由も教えて下さい。また、あなた以外の人はどちらを選択するでしょうか？ あなたの考えを書いてください。
- 〔設問06〕 野球のとあるピッチャー選手は神様から“一試合に一回だけ魔球を投げる能力”を与えられています。その魔球は「バッターにだけそのボールが全く見えない」という優れモノです。この能力を最も有効に生かして、試合に勝つための方策を考えて下さい。
- 〔設問07〕 新しいエレベーターを開発中です。どのようなエレベーターを作りますか？ アイデアをできるだけ多く（最大10）あげて下さい。
- 〔設問10〕 人はなぜ働かなければならないのでしょうか？
- 〔設問11〕 「自分で考える」とはどういうことでしょうか？
- 〔設問12〕 富は偏在しています。「結果の不平等」は許されることでしょうか？
- 〔設問13〕 大学入学試験についてのあなたの気持ちを俳句に詠んでください。
- 〔設問14〕 「ダジャレ」の益と害について述べてください。
- 〔設問15〕 世の中やあなたの身の回りには無料の物やサービスが多くあります。出来るだけ多くの例を挙げて、それぞれが何故無料なのか説明してください。
- 〔設問16〕 商店街がさびれています。客が少なくなったので店はシャッターを閉め、その結果更に客が少なくなるという悪循環です。郊外の大型ショッピングモールや駅前的大型スーパーに客が取られています。「駅に近い」という利点はあるものの、駐車場もありません。上記のような商店街について、再生のアイデアを述べてください。
- 〔設問19〕 雨の降っている日に歩いて濡れない方法をできるだけ多く挙げてください。
- 〔設問20〕 あなた自身について、「私は、○○○○である。」という文章を20個作ってください。
- 〔設問21〕 月曜日の朝8時に、電車に乗って携帯電話・スマホを操作している人は日本全体で何人いるでしょうか？
- 〔設問22〕 料理屋の生簀（いけす）には蟹が何匹も入れられています。客はその中から選び、料理してもらいます。さて、あなたは生簀の中の蟹です。「これ!」と家族連れがあなたを指差しています。自分より太ったやつ（上司、同僚、部下）もいるのに何故自分が？ なんとかこの窮地を逃れたい!家族連れを説得する演説をしてください。

# アサーティブプログラム・アサーティブ入試について

## 出身校都道府県別 人数一覧

(単位:名)

都道府県	2015年度			2016年度		
	プログラム (1年生~3年生)	志願者 (3年生のみ)	合格者 (3年生のみ)	プログラム (1年生~3年生)	志願者 (A,B日程 (3年生のみ))	合格者 (A,B日程 (3年生のみ))
北海道	1	0	0	0	0	0
青森県	0	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0	0
東京都	0	0	0	3	2	2
神奈川県	0	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0
長野県	1	0	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0	0	0
石川県	2	0	0	0	0	0
福井県	2	0	0	1	1	0
岐阜県	0	0	0	1	0	0
静岡県	1	1	0	2	1	1
愛知県	1	0	0	2	1	0
三重県	2	2	1	9	4	2
滋賀県	12	3	1	26	19	9
京都府	18	8	6	36	22	12
大阪府	98	51	29	325	142	65
兵庫県	28	12	8	84	35	23
奈良県	3	1	1	10	3	1

(単位:名)

都道府県	2015年度			2016年度		
	プログラム (1年生~3年生)	志願者 (3年生のみ)	合格者 (3年生のみ)	プログラム (1年生~3年生)	志願者 (A,B日程 (3年生のみ))	合格者 (A,B日程 (3年生のみ))
和歌山県	1	0	0	6	2	0
鳥取県	1	1	0	3	2	1
島根県	0	0	0	3	1	1
岡山県	1	1	1	5	4	2
広島県	4	2	2	6	5	4
山口県	0	0	0	2	2	1
徳島県	0	0	0	0	0	0
香川県	2	2	1	2	1	1
愛媛県	0	0	0	2	0	0
高知県	1	1	1	1	1	0
福岡県	0	0	0	2	0	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	1	1	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0
通信制	11	6	2	22	12	5
在外教育施設	0	0	0	1	1	0
高卒認定	0	0	0	2	0	0
合計 (実人数)	190	91	53	557	262	130

# アサーティブ入試について

## 学部学科別 志願者数・受験者数・入学者

(単位:名)

	学部/学科	2015年度			2016年度						合計
					A日程			B日程			
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	
1次志願者数	経済	0	0	0	27	0	27	6	0	6	33
	経営	6	2	8	34	4	38	22	1	23	61
	マーケティング	9	7	16	23	9	32	13	7	20	52
	地域創造	10	1	11	14	5	19	7	1	8	27
	社会	1	4	5	12	10	22	6	4	10	32
	心理	24	21	45	20	27	47	3	12	15	62
	アジア	1	1	2	2	5	7	1	0	1	8
	英語コミュニケーション	1	3	4	5	6	11	4	0	4	15
	合計	52	39	91	137	66	203	62	25	87	290
1次合格者数	経済	0	0	0	25	0	25	5	0	5	30
	経営	4	2	6	31	4	35	19	1	20	55
	マーケティング	9	7	16	20	8	28	10	6	16	44
	地域創造	19	19	38	13	4	17	5	1	6	23
	社会	1	3	4	11	10	21	4	4	8	29
	心理	1	1	2	20	26	46	2	11	13	59
	アジア	1	2	3	2	5	7	1	0	1	8
	英語コミュニケーション	10	1	11	3	6	9	3	0	3	12
	合計	45	35	80	125	63	188	49	23	72	260
2次合格者数	経済	0	0	0	12	0	12	2	0	2	14
	経営	4	2	6	13	2	15	10	0	10	25
	マーケティング	5	5	10	8	5	13	6	4	10	23
	地域創造	9	10	19	4	3	7	5	0	5	12
	社会	1	2	3	9	9	18	3	3	6	24
	心理	1	1	2	6	8	14	0	5	5	19
	アジア	1	2	3	1	4	5	1	0	1	6
	英語コミュニケーション	9	1	10	1	4	5	2	0	2	7
	合計	30	23	53	54	35	89	29	12	41	130
入学者	30	22	52	52	35	87	29	12	41	128	

# アサーティブプログラム受講者 入試種別 志願・合格・入学者数

(単位:名)

入試種別	2015年度			2016年度		
	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者
アサーティブ入試 A日程	91	53	52	203	89	87
アサーティブ入試 B日程	-	-	-	87	41	41
AO入試	32	17	17	-	-	-
スポーツ推薦入試(第1期)	1	1	1	3	3	3
スポーツ推薦入試(第2期)	-	-	-	0	0	0
特別選抜入試	-	-	-	18	12	12
追手門ファミリー入試	-	-	-	4	2	2
提携推薦入試	-	-	-	47	47	47
内部推薦入試	0	0	0	1	1	1
指定校推薦入試	12	12	12	48	48	48
公募制推薦入試 A日程	27	8	5	92	22	16
公募制推薦入試 B日程	10	2	2	36	6	5
小論文入試 A日程	12	5	5	31	8	6
小論文入試 B日程	1	0	0	3	1	1
一般入試 A日程	11	5	5	38	7	5
一般入試 S日程 前期	10	0	0	25	4	3
一般入試 S日程 後期	2	0	0	-	-	-
一般入試 B日程	3	1	1	18	1	1
大学入試センター試験利用入試 A日程	0	0	0	8	0	0
大学入試センター試験利用入試 B日程	0	0	0	0	0	0
チャレンジ入試	2	0	0	5	0	0
合計	214	104	100	667	292	278

# 入学前学習

1. 時期 2015年12月16日(水) 発送  
2016年 2月 8日(月) 提出締め切り

2. 課題
- ① あなたの生まれた日の新聞を読んでください。  
※<お誕生日>という大切な日に発行された読売新聞紙面で作製した「記念日の新聞」
  - ② 毎年年末になると報道関係から発表される「10大ニュース」を調べてみましょう。  
※生まれた年から高校2年生までの17年分です。
  - ③ 毎年の10大ニュースから、自分の興味を持ったニュースをそれぞれ3つ選びます。ワークシート「私の選んだ毎年のニュース」に、生まれた年から記入をします。
  - ④ 今まであなたが成長してきた過程と、毎年のニュースを対比してください。そこから考えたことを踏まえ、これからの大学生活や将来に向けての思いを800字以内でまとめてください。

3. 目的
- 合格者に大学入学までの高校生活の充実と、  
大学で学ぶことを考え続けることができる課題を用意する。  
人の行動や考えは、社会の動きから様々な影響を受けていることを実感してもらうために、  
毎年末に新聞等で発表される10大ニュースを生まれてから入学までの毎年分を調べ、  
社会の動向と自分の人生と照らし合わせ、  
改めて大学進学の意味や学ぶ学科での学び方を意識化することを目的とする。

## 学生コメント

- 1ヶ月くらいかけて少しずつ進めていった。各年の10大ニュースを調べていくうちに、自分の興味のあるニュースに共通点が見えてきた。そこから大学入学後、何を重点的に勉強するかを絞るのに役立った。
- 思っていたよりも時間がかかった。手間はかかるが、自分が生きている間にいろんなことが起こっていたことを知れたのは新鮮で面白かった。
- レポートを書くのは初めてで難しかった。しかし、10大ニュースを調べると興味深い内容が多くてだんだん楽しくなってきた。
- 新しくアルバイトを始めたり、高校時代最後にやっておきたいことなどがたくさんあったので課題の量がちょうど良かった。

## 個別面談職員・研修日程

### ◆アサーティブ面談職員数

2014年度:32名

2015年度:26名追加

2016年度:新たに9名追加 合計62名

※所属は委嘱当時のものとする。

(単位:名)

部署名	2014年度	2015年度	2016年度	小計
副学長	1	-	-	1
内部監査室	1	1	-	2
理事長室 経営戦略課	1	1	-	2
総務課	4	3	1	8
総務室	-	-	1	1
人事課	2	2	1	5
財務課	1	2	-	3
広報課	-	1	-	1
学事課	1	2	-	3
評価推進課	-	2	-	2
学部設置課	-	1	-	1
教務課	8	2	2	12
教育支援課	2	-	-	2
学生課	1	-	1	2
課外活動推進課	2	-	-	2
就職・キャリア支援課	1	1	-	2
国際交流教育センター	1	1	1	3
情報メディア課	-	2	-	2
入試課	6	5	2	13
合計	32	26	9	62

※退職者5名含まず  
※2016年4月時点

### ◆研修日程

#### 2014年度

- ①2014年3月28日
- ②2014年4月22日
- ③2015年2月25日
- ④2015年3月24日

※③、④は同内容

#### 2015年度

- ①2015年12月8日
- ②2015年12月9日
- ③2015年12月11日

※①、②、③は同内容

# 研修内容・事例紹介

◆研修内容：4～5人のグループとなり、それぞれの面談事例を検討するケースカンファレンスを行う。

◆目的：多様な高校生の実態把握と、その対応について学び合う。

## 事例：1

### 1. どのような生徒だったか

将来は起業して花屋を開業したいという夢をもった生徒。1回目の面談の際には経営学部を希望していたが、改めて自分自身で考え、今回2回目の面談となる。

### 2. どのように対応したか

当初は起業なので経営学部と決めていたようだが、オープンキャンパスに参加して、他学部の説明を聞き、地域創造学部もマッチングしていると考え、今回面談に来た。花屋の場合、鮮度が重要になることから、確かに、地域に根ざした展開がポイントで、地域創造学部で学ぶことは面白い考えであると同調した。

### 3. 生徒の反応はどうだったか

本人も第三者に評価されたこともあり、自分で考えた学びの方向に関して自信を持ったように感じた。

### 4. 振り返り

本人がしっかりと方向を決めて来られていたので、徹底してフォローに回るよう心がけた。私自身ももっと深く地域創造学部で学ぶことのメリットの理解を深める必要性を感じた。

## 事例：3

### 1. どのような生徒だったか

高1のときに追大のオープンキャンパスに来て心理学部の説明を聞き「いいな」と思った。高2,3と部活をしていて進路のことをあまり考えていなかった。心理以外は全然知らないのが本当に心理でいいのか迷っている。

### 2. どのように対応したか

全学部の分野を説明し、特に心理と関連して経済学部の行動経済学の話や経営学部のビジネス心理メジャーの話などを紹介したところ興味をもってくれた。

### 3. 生徒の反応はどうだったか

自分のやりたいことが心理だけでなく、他の分野にもあるということがわかってオープンキャンパスなどで色々調べてみたい、とのこと。

### 4. 振り返り

面談の中で自分のアドバイスをきっかけに生徒が何かをつかんだ感覚があると嬉しく感じる。今回他の面談員の方の話を聞かずに、マナボスによる基礎学力向上についても面談でしっかり伝えていく必要があると感じた。

## 事例：2

### 1. どのような生徒だったか

警察官になりたいので犯罪心理学を学びたい。社会から少しでも犯罪をなくしたい。

### 2. どのように対応したか

犯罪社会学という科目もあり、犯罪を多面的に捉えることができる。

### 3. 生徒の反応はどうだったか

人間の心理について関心が強い様子であった。

### 4. 振り返り

高校生には難しい言葉(横文字、カタカナ)を使わずマインドマップのイメージができるように話を進めることが重要であるとつくづく感じた。面談した当該学生は心理学部に合格した。

## 事例：4

### 1. どのような生徒だったか

大学進学に対し、目的意識がない生徒。

### 2. どのように対応したか

何事に対してもとことん考えてみてはどうかとアドバイスをした。

### 3. 生徒の反応はどうだったか

「はい」とはいったものの本当にわかっているとは感じなかった。

### 4. 振り返り

キャリア教育につなげる。(初等・中等教育段階からの働きかけが重要)本来のターゲット層がどれ位いるのか。(今はとりあえず行ってみようというレベルの子が多く含まれている)面談は1回のみではなく複数回(できれば同じ面談員で行った方がよい。通過儀礼でなく教育的な側面を持たせてはどうか。

## 事例：5

### 1. どのような生徒だったか

自分のやりたい事はあるが具体化できていない。自分が何をやりたいのか未だわかっていない。

### 2. どのように対応したか

やりたい事の具体的なイメージ(仕事や職種)を伝え、個々に目指す学部や学びについて話を進めた。

### 3. 生徒の反応はどうだったか

そんな事があるのかという反応。色々な可能性を考えてみますとの反応。

### 4. 振り返り

面談回数が1回だと最初の話を受けての考えの変化がつかめない。理想としては同じ面談者が2回以上面談し、その子の進路を考えてあげるのが良いと思う。

### MANABOSS をきっかけに 学習意欲が上がりました。

高校 3 年生の夏休みは空き時間さえあればずっと MANABOSS をやっていました。電車での移動時間はスマホを利用し、高校にいるときは先生にお願いをしてパソコンを使わせてもらいました。わからない問題がある時は、先生に質問に行きました。今まで話す機会がほとんどなかった先生と、MANABOSS をきっかけに、話す機会がどんどん増えていきました。そのことにより学習意欲が上がっただけでなく、学びへの興味の範囲が広がりました。また、アサーティブ入試に合格したことが、大きな自信につながりました。

大学にはたくさんの方がいるので、色々な人と話す機会が増えて、ますます視野が広がっています。大学に通うことで行動範囲がぐんと広がり、自分の世界も広がりました。何事にも積極的に取り組めるようになったことは、大きな変化です。高校生の時から行っていたライブ活動は、今後もっと意欲的に行うつもりです。



追手門学院大学  
心理学部 心理学科 1年

**井上 虎太郎**

(兵庫県・三田松聖高等学校 出身)

### やってみたいと思うことは どんどんチャレンジしていきたいです。

ずっと演劇をやっていたので、女優さんになりたいと考えていました。大学進学を決めたのも、色々な経験をして、幅広いお芝居ができる、息の長い女優さんを目指したいと思ったからです。個別面談でこの話をしたことは、すごく印象に残っています。

入学してからは、アナウンサーの仕事にも興味を持ち始めました。演劇の授業がすごく楽しいです。高校とは人数も規模も違うので、色々な人の意見が聞けることがとても面白いと感じています。

今は、部活やサークルには所属せず、大学以外の大半は映画館のアルバイトを頑張っています。試写会の司会進行をするなどお客様の前でアナウンスをすることもあり、良い経験をしています。どちらの夢も高い目標ですが、やってみたいと思うことはどんどんチャレンジしていきたいです。大学在学中に出来る限り努力をして、夢を実現させたいと思います。



追手門学院大学  
社会学部 社会学科 1年

**豊倉 里奈**

(大阪府・聖母被昇天学院高等学校 出身)



## アサーティブ学生スタッフ紹介

### アサーティブの 1 期生としてできること。

アサーティブプログラムを受け、アサーティブ入試で入学した経験を生かして、昨年度のオープンキャンパスでは、アサーティブ学生スタッフとして活動しました。実際に来場した高校生から相談されることも多く、私の経験が少しでも人の役に立てれば嬉しいと思いました。また、ピアサポーターで他団体とコラボ企画をする際、企画責任者としてその任務を全うしました。これまでは人の意見に流されることも多かったのですが、さまざまな活動に参加をすることで自信を持って発言できるようになりました。さらに、考え方も以前よりポジティブになったと思います。勉強も、入学当初は周りのみんながよく出来るように見えて不安でしたが、きちんと授業を聞いていけば難しい内容も理解できることがわかり安心しました。心理学はずっと学びたかった学問なので、これから統計などの苦手な分野も頑張っていきたいです。

アサーティブの 1 期生として出来ることがもっとあるのではないかと思います、アサーティブ入試で入学した学生数人でこれから少しずつ活動を広げていけたらと考えています。今後も自ら積極的に行動し、その場その場に合った自分のポジションを見つけて、柔軟な姿勢をもって活動していきたいです。



追手門学院大学  
心理学部 心理学科 2年

**辻川 美智子**

(屋久島おおぞら高等学校 出身)

### アサーティブ入試を受けて 人生が変わりました。

私が、アサーティブ入試を知ったきっかけは幼なじみである友人からの紹介でした。それまでは就職を考えていたので、大学進学には興味がなく、大学受験に伴う準備などもしていませんでした。しかし、友人が持ってきた追手門学院大学のパンフレットには、私が知っている大学入試とは全くちがう内容の「アサーティブ入試」というものが載っていました。アサーティブ入試は、グループディスカッション、基礎学力適性検査、個別面接によって判定される入試方法で、これを見て衝撃を受けたのを覚えています。なぜなら、当時私が取り組んでいた就職活動の準備と近い内容だったからです。そこからすごく興味が湧いて、アサーティブプログラムに参加することを決めました。職員の方と話しているうちに、この大学を受験したいという思いが生まれてきました。

私は、アサーティブ入試を受けて人生が変わりました。今とても充実した学生生活を送ることが出来ているので、追手門学院大学の学生になれて本当に良かったと思っています。アサーティブ学生スタッフの活動も始まったばかりですが、皆で協力して楽しみながら進めていきたいです。



追手門学院大学  
地域創造学部地域創造学科 2年

**難波 将生**

(京都聖カタリナ高等学校 出身)

2016年4月、アサーティブ2期生を迎えました。1期生と2期生で「アサーティブ学生スタッフ」始めます！  
何をどこまで、どれだけできるのかわかりませんが、ゼロから創ることを楽しめるよう、そっと支えていきたいです。



## 大学教育再生加速プログラム採択事業 報道関係

### ○インターネット

掲載日: 2015年8月3日(月)  
 サイト: 読売教育ネットワーク  
 タイトル: 「手間ひまかけて『育てる入試』」

### ○新聞

掲載日: 2015年4月6日(月)  
 新聞名: 日経産業新聞 9頁  
 タイトル: 「15年度入試志願者伸び率 追手門学院大学トップ」

掲載日: 2015年4月6日(月)  
 新聞名: 教育家庭新聞 4頁  
 タイトル: 「選抜前から育てる『育成型』入試へ」

掲載日: 2015年7月21日(火)  
 新聞名: 日本経済新聞 朝刊31頁  
 タイトル: 「偏差値より『志』」

掲載日: 2015年9月25日(金)  
 新聞名: 読売中高生新聞 1頁  
 タイトル: 「大学 どう選ぶ」

掲載日: 2015年11月11日(水)  
 新聞名: 佐賀新聞 14頁  
 タイトル: 「ニッポンの人づくり 大学入試改革⑤ アサーティブ入試」

掲載日: 2015年11月15日(日)  
 新聞名: 神戸新聞 18頁  
 タイトル: 「ニッポンの人づくり 第1部 大学入試改革」



web 読売教育ネットワーク(2015年8月3日)



中日新聞 朝刊滋賀総合(2016年3月18日)



読売中高生新聞(2015年9月25日)



日経産業新聞(2015年4月6日)



佐賀新聞(2015年11月11日)

# 大学教育再生加速プログラム採択事業 報道関係

## ○雑誌

発行日: 2015年6月  
 雑誌名: Guideline 6月号  
 タイトル: 「高大接続改革情報 第2回」

発行日: 2015年6月15日発行  
 雑誌名: Between6.7月号P.19-21  
 タイトル: 「職員が中軸を担う 育てて受け入れる新たな入試」

発行日: 2015年8月号  
 雑誌名: 私学経営 NO.486  
 タイトル: 「『選抜型』入試から『育成型』入試へ  
 ～追手門学院大学 アサーティブプログラムとアサーティブ入試～」

発行日: 2015年8月30日発行  
 雑誌名: サンデー毎日  
 タイトル: 「私立大入試はこんなに変わる」

発行日: 2015年11月  
 雑誌名: Guideline 11月号  
 タイトル: 「多面的・総合的評価による大学入学者選抜  
 『選抜型』入試から『育成型』入試への転換  
 アサーティブプログラム・アサーティブ入試」



河合塾ガイドライン(2015年11月)

Between 6.7月号(2015年6月15日発行)

私学経営 NO.486(2015年8月)

河合塾ガイドライン(2015年6月)

# 報道関係

## 大学教育再生加速プログラム採択事業 報道関係

### ○雑誌

発行日: 2015年12月1日

雑誌名: Benesse「うちの子の大学入試どうなるの?」

タイトル: 「追手門学院大学 アサーティブ入試」(大学入試改革の一例として)

発行日: 2016年1月

雑誌名: Benesse「マナビジョンブック2016」大学・短期大学大事典

タイトル: 「学カプラス、意欲や主体性を測る 個別入試の多面的評価」



Benesse「うちの子の大学入試どうなるの?」(2015.12)



Benesseマナビジョンブック2016大学・短期大学大事典(2016年1月)

## 大学教育再生加速プログラム採択事業 講演依頼関係

### 「地域科学研究会 高等教育活性化シリーズ290」

主催:株式会社地域科学研究会

日時:2015年5月12日(火)

会場:剛堂会館(明治薬科大学)会議室

講演者:志村知美

演題:選抜型入試から育成型入試へ  
～アサーティブプログラムとアサーティブ入試～

### 「大阪府立東淀川高等学校 PTA総会」

主催:大阪府立東淀川高等学校

日時:2015年5月22日(金)

会場:大阪府立東淀川高等学校

講演者:志村知美

演題:学生の現状からお伝えしたいこと

### 「2030年も生き残るための本気の大学改革」

主催:NPO法人NEWVERY

日時:2015年6月14日(日)

会場:日本財団ビル

講演者:志村知美

演題:これからの入試改革に向けて  
～「選抜型入試」から「育成型入試」へ～

### 「平成27年度大学教務部課長相当者研修会」

主催:日本私立大学協会

日時:2015年10月29日(木)

会場:オークラアクシシティホテル浜松

講演者:福島一政・志村知美

演題:選抜型入試から育成型入試への転換  
アサーティブプログラムとアサーティブ入試の取り組み

### 「第7回大学マネジメント改革総合大会」

主催:一般社団法人日本能率協会

日時:2015年11月13日(金)

会場:筑波大学 東京キャンパス文京校舎

講演者:志村知美

演題:アサーティブプログラム・  
アサーティブ入試と大学職員の役割

### 「大阪府私立大学連絡会講演会」

主催:大阪府私立大学連絡会

日時:2015年12月7日(月)

会場:大阪ガーデンパレス

講演者:福島一政

演題:アサーティブプログラムとアサーティブ入試  
～選抜型から育成型へ～

### 「第30回教育サロンin大分」

主催:株式会社ラーニングバリュー

日時:2015年12月19日(土)

会場:ホルトホール大分

講演者:志村知美

演題:「答え」は目の前の学生から  
～「アサーティブな態度」をどう活用するかを考える～

### 「大学改革推進フォーラム第5回シンポジウム」

主催:大学問題研究所

日時:2016年1月27日(水)

会場:大阪府立国際会議場

講演者:福島一政

演題:「アサーティブ入試」と追手門学院大学の取り組み  
～「選抜型」から「育成型」への挑戦～

### 「日本観光ホスピタリティ教育学会 第15回全国大会」

主催:日本観光ホスピタリティ教育学会

日時:2016年2月27日(土)

会場:立教大学 新座キャンパス

講演者:志村知美

演題:アサーティブプログラムとアサーティブ入試  
～「答え」は、目の前の学生から～



## 大学教育再生加速プログラム

### 本補助事業の目的

事業全体の目的は、本学の基盤教育機構が進める「主体的に取り組む姿勢とチームとして行動する能力、個性と協働力の育成を図る」ための少人数教育に直接連動し、改革の成果を確実に加速させることである。本学の建学の理念であり教育「独立自彊・社会有為」に基づいた教育を実現するためには、主体的に学ぶ姿勢を育てる機能を有した新たなプログラムと入試制度を実現する必要がある。

新しい入試のコンセプトは、「選抜型入試」から「育成型入試」である。

大学進学率が過半数を超え、多様な受験生が増加していることを踏まえ、大学で学ぶ姿勢や意欲を育てるために、発達支援の考え方を取り入れた、大学教育への接続のための新しいプログラム開発である。この趣旨は、大学受験を希望する高校生に、大学で学ぶことへの期待を持たせ、主体的に学ぶ姿勢に変容させて、大学や学部などを決める際の選択肢を自分で選んで決断することの大切さに気づかせて受験に導くことである。本学の教育目的である「独立自彊・社会有為」の人材育成機能の強化を図ることが、本補助事業の目的である。

### 平成28年度補助事業の目的

アサーティブプログラムの1つである「MANABOSS」システムの更なる改善と機能開発に取り組み、問題数を増やすなど利用環境を整備する。また、参考事例を調査するために高校等を訪問し、アサーティブプログラム・アサーティブ入試制度の向上を図ることである。

# 平成28年度 大学教育再生加速プログラム 事業計画

## 平成 28 年度補助事業実施計画

**計画** 入試部にアサーティブ課を設け、プログラムと入試を分けることにより、それぞれの実施体制を確立する。

**内容** プログラムはアサーティブ課、入試は入試課で実施することで、それぞれの内容を更に充実させる。

**成果** アサーティブプログラムと入試を分けることにより、教育プログラムと入試の区分を明確にできる。

**計画** 広報媒体を作成し、現行地域に加え九州・沖縄エリアへの拡大広報を行う。併せて高校訪問を実施する。

**内容** 現行地域に加え平成28年度重点地区である九州・沖縄エリアでのプログラム参加率向上に繋がる募集活動を行う。また、広報媒体を作成し、告知に使用する。

**成果** 2016年度入試での沖縄エリア入学予定者1名から数名規模の入学へ繋げる。

**計画** アサーティブガイダンス及び個別面談を開始する。新たにアサーティブイベントを開催する。

**内容** 新学年の高校生に向けガイダンスを開催する。また、新たにアサーティブイベントを計画し、早期に大学進学の間機付けを図る。

**成果** 個別面談者数900人を目標とし、その確保ができるようにする。アサーティブイベントでは250名の参加を見込む。

**計画** MANABOSSシステムに英語コンテンツを搭載する。

**内容** MANABOSSシステムのコンテンツ開発に英語問題を加え、機能を充実する。

**成果** MANABOSSシステムに英語問題を加え、国数英とバランスの取れた基礎学力の向上を図る。それにより入学前の学力担保を目指すことができる。

**計画** 平成28年度入学の新入生について、入学後の学生生活等についてヒヤリング調査を行う。

**内容** 入学前と入学後の状況をヒヤリングすることで、入学後のフォロー体制を含めスムーズな接続体制を検討する。

**成果** 入学後の実態を把握することにより、入学前の支援の在り方を検討することができる。

**計画** 入試募集要項及び入学手続要項を作成する。

**内容** 入試募集要項は、アサーティブプログラム受講者に配布する。入学手続要項は、アサーティブ入試合格者に配布する。

**成果** アサーティブプログラムの受講者を本学への出願へ繋げ、入学者目標数を確保できるようにする。

**計画** 併設校・提携校に対してアサーティブプログラムへの誘導を行う。

**内容** 併設校・提携校にアサーティブプログラムを通じて、進路選択のきっかけを作る。

**成果** 併設校・提携校から目的意識の高い受験生を安定的に確保することができる。

## 平成 28 年度補助事業実施計画

### 計画 外部パネリストを招いたシンポジウムを開催する。

内容 3年目になる本プログラムの取り組みをシンポジウム形式で公開議論することにより知見・研究を深める。

成果 シンポジウムでの議論を踏まえ、アサーティブプログラム・アサーティブ入試の更なる改善・発展を目指す。

### 計画 MANABOSSシステムとコンテンツ開発を行う。

内容 MANABOSSシステムの構築とコンテンツ開発を行うことにより、より多くの高校生が利用できるようにする。  
また、学習成果を把握し反映できるような機能を充実する。

成果 MANABOSSシステムの構築では安定的な運用が可能となり、より多くの利用者を受け入れることができる。  
また、コンテンツの開発では問題数を増やすことにより、高校生の基礎学力向上を図り、入学前の学力担保を目指すことができる。

### 計画 アサーティブ入試実施と出願状況等のデータ分析を行い来年度の方針を策定する。

内容 出願状況や実施日などの分析を行い、アサーティブ入試の改善・修正を検討する。

成果 受験生の動向分析の結果から課題事項を検討し、ガイダンスの内容や面談の運営を見直すことにより、  
より多くの高校生に受験の意識を变容させることができる。

### 計画 入学前学習を実施する。

内容 アサーティブ入試合格者に対し、大学入学までの高校生活の充実と、  
大学での学びについて考え続けることができるよう課題を用意して、モチベーションの維持に努める。

成果 合格後の過ごし方によって、入学予定者は大学への期待感を醸成し、  
大学生となる心の準備をすることにより学生生活の向上に結び付けることができる。

### 計画 実施担当から年次報告を行い、外部評価委員会による評価を受ける。

内容 平成27年度の外部評価委員に引き続き、アサーティブプログラムとアサーティブ入試についての評価を得る。  
また、次年度の事業実施に向けて、ガイダンスや入試日程の見直しを含め検討をする。

成果 外部評価委員会で、アサーティブプログラムとアサーティブ入試について評価を得ることにより、より高校生に適切な  
プログラムを提供でき、高大接続を見直し、改善を図り、高校生により良い進路を考える機会の提供が可能となる。

### 計画 アサーティブガイダンス面談職員研修会を実施する。

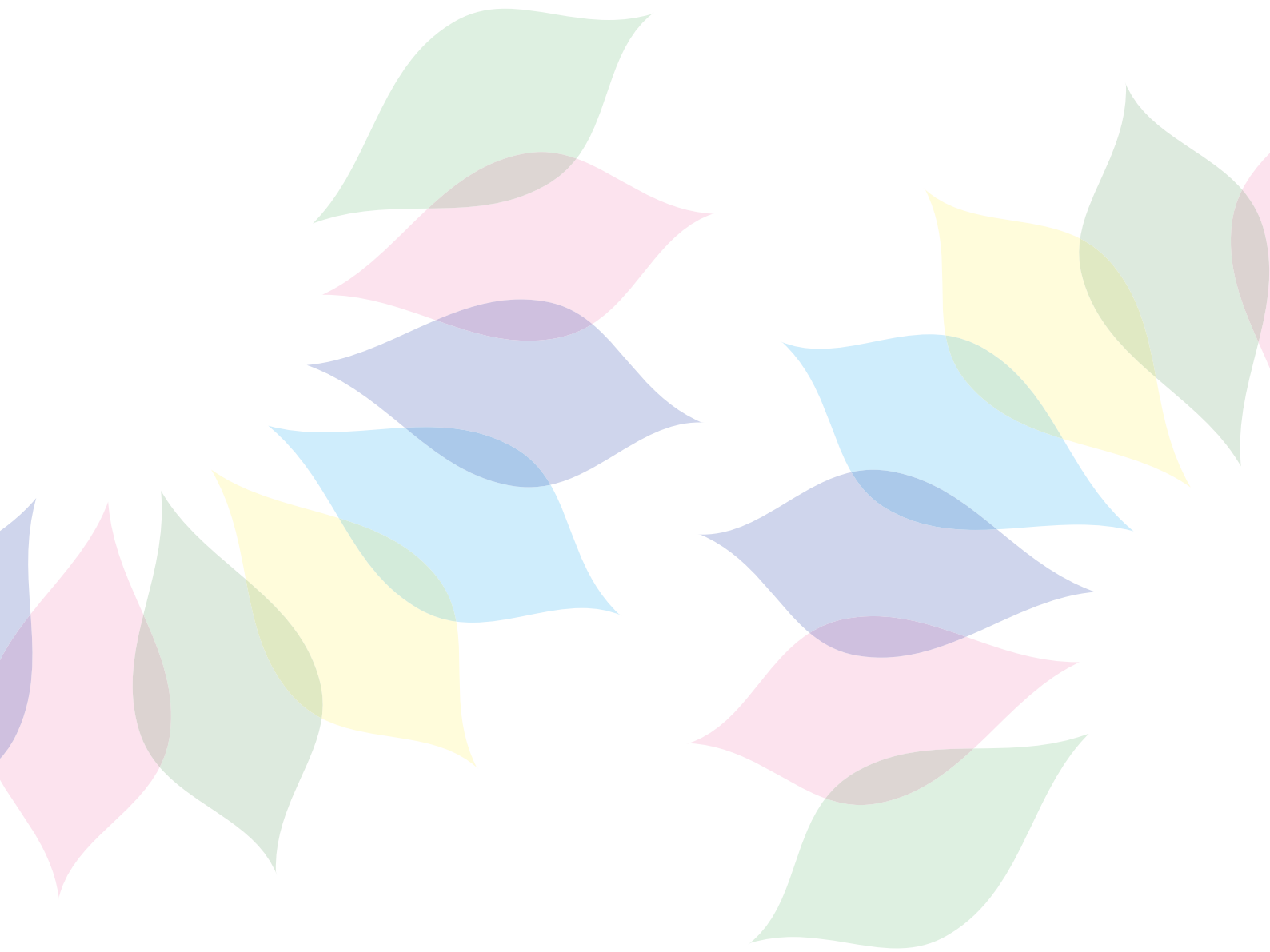
内容 アサーティブプログラム個別面談職員の研修を行う。

成果 面談職員が、高校生・学生の実態を的確に把握し、教育改革への具体的な政策提起ができる力量と、  
個々の学生に対する教育支援ができる力を育成することができる。

### 計画 全入試終了後に、アサーティブプログラムを受けた受験生の出願傾向を分析する。

内容 アサーティブプログラムを受けた生徒の本学受験の状況や傾向を分析することにより、他入試との関連性を踏まえ、  
アサーティブガイダンスとアサーティブ入試の日程及び回数を検討する。

成果 アサーティブプログラム受講者の動向を分析することにより、他入試との関係を見直すことができる。



アサーティブプログラム・アサーティブ入試 補助事業報告書に関するお問い合わせ

追手門学院大学 アサーティブ課

**TEL : 072-641-9623**

- 住所 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15
- 受付時間 平日9:00~18:00
- e-mailアドレス [assertive@otemon.ac.jp](mailto:assertive@otemon.ac.jp)
- ホームページ <http://www.otemon.ac.jp>